国別開発協力方針　別紙

対 ルワンダ共和国　事業展開計画

2018年 4月 現在

基本方針 （大目標）	持続的成長･貧困削減･雇用創出の促進

重点分野１ （中目標）	経済基盤整備（運輸交通・貿易円滑化・電力）
開発課題１－１ （小目標） 経済基盤整備	【現状と課題】 ルワンダでは「VISION2020」の目標である2020年を控え、次期国家ビジョン「VISION2050」及び次期国家開発戦略「変革のための国家戦略（NST1）（2017－2024）」の策定が進むとともに、「第2次経済開発貧困削減戦略（EDPRSⅡ）」の成果及び課題のレビューが行われている。過去10年間において年平均で8%以上の経済成長を維持してきたが、今後も右成長を継続し、発展させるための経済基盤整備が依然としてNST1の重要な柱のひとつ（「経済の変革」）となっている。しかしながら、運輸交通や電力供給などにかかる経済インフラは未だ十分に整備されていない現状であり、高い輸送費用や電力料金が民間セクターを含めた産業振興全体の障害になっている。 【開発課題への対応方針】 運輸交通及び電力の両分野を柱とする経済基盤整備の推進を図るべく、道路等のインフラ整備、国際回廊上の物流円滑化などの域内統合に資する取組、電力施設の拡張・改修に対する支援を積極的に行うことにより、持続的な経済成長の基礎構築を支援する。

協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名	スキーム	実施期間 2017年度以前	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	支援額（億円）	備考
運輸交通・貿易円滑化プログラム	国際回廊に繋がる橋りょうなどの整備、通関手続円滑化（One Stop Border Post）や税関能力強化などの域内統合に資するソフト面での支援も行う。また、東アフリカ北部回廊、中央回廊の結節点であるキガリ市の都市交通の円滑化に資する協力に取り組む。	東部アフリカ地域における貿易円滑化及び国境管理能力向上プロジェクト	技プロ		━━	━━	━━	━━			広域案件（EAC5ヶ国対象）
		ルスモーカヨンザ区間道路改良計画	有償	━━	━━	━━				68.89	アフリカ開発銀行協調融資
		ンゴマ-ラミロ区間道路改良計画	有償	━━	━━	━━	━━	━━		76.70	″世界開発銀行協調融資
		運輸交通･貿易円滑化分野の課題別研修	課題別研修他	━━	━━	━━					
電力プログラム	発電・送配電網の整備に加えて、政策的な提言や施設の運用・維持管理能力の強化などにかかる支援を有機的に組み合わせた形で実施し、分野包括的なアプローチでの協力を行う。	第二次変電及び配電網整備計画	無償	━━	━━	━━				22.19	
		第三次変電及び配電網整備計画	無償		┅┅	┅┅	┅┅	┅┅	┅┅	26.35	
		電力分野の課題別研修	課題別研修他	━━	━━	━━					

重点分野２ （中目標）	農業開発（高付加価値化・ビジネス化）

開発課題２－１ （小目標） 農業開発	【現状と課題】 ルワンダのGDPの30%以上を農業が占めており、近隣諸国と比べてもその割合は高い。また、人口の約70%が農業に従事しており、農業はルワンダにとって重要な産業である。農業生産量はカロリーベースでの自給を達成している一方で、依然として生産性の低い自給自足的農業が主である。この他にも、急速な人口増加、ビジネス環境の不備、市場及びバリューチェーンの不完全さ、洪水や干ばつ等の気候変動への脆弱さが大きな課題となっている。	【開発課題への対応方針】 農業の収益性・生産性向上のため，政策レベルから普及員、産業の担い手 （農家や加工業者等の小規模経営者）にいたるレベルの能力強化に加え、バリューチェーンの強化や灌漑施設の整備などの環境整備を支援する。

協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名	スキーム	実施期間 2017年度以前	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	支援額（億円）	備考
付加価値農業・ビジネス振興プログラム（強化プログラム）	収益性の高い農業を促進するため、産業の担い手（農家や加工業者などの小規模経営体）や政府組織の能力強化やインフラ整備などを支援する。担い手の能力強化については、コメや園芸作物といった高収益作物の質の向上を図り、市場志向型農業を小規模農家に普及するとともに、加工業者など中小企業に対してビジネス実施能力強化を行う。環境整備に関しては、園芸作物やコメ等の高収益作物の栽培の基礎となる灌漑施設の整備とともに、重要な分野に関する政府職員の能力強化を図る。	灌漑アドバイザー	個別専門家	■	■					0.24	
		灌漑水管理能力向上プロジェクト	技プロ			┅	┅	┅	┅	5.00	
		ルワマガナ郡灌漑施設改修計画	無償	■	■	■	■			20.77	
		小規模農家市場志向型農業プロジェクト	技プロ	■	■	■				7.61	
		東部州における小規模生産者グループの経済活動及びマネジメント向上支援プロジェクト	草の根技協	■	■					0.50	
		コーヒーバリューチェーン強化プロジェクト	技プロ	■	■	■	■			2.00	
		菌根菌を活用したマカダミアナッツの有機農業技術の普及・実証事業	中小企業支援	■	■	■	■			1.01	
		農業技術支援/協同組合支援/中小企業振興	JOCV	■	■	■					
		農業開発分野の課題別研修・青年研修	課題別研修他	■	■	■					

重点分野３ （中目標）	社会サービスの向上（安全な水・衛生サービスの持続的な提供）

開発課題３－１ （小目標） 安全な水・衛生の供給	【現状と課題】 ルワンダ政府は、VISION2020において、同国における社会基盤の主要な課題として給水率の向上（2020年までに100%を達成）や衛生の改善を掲げている。現在、「給水政策戦略（2016）」及び「衛生政策戦略（2016）」に基づきその向上に努めているが、現在の数値は84.8%（都市部90.0%、地方部83.7%。2013/14年第4回 世帯活状況調査）に留まっている。また，地方部の給水施設の稼働率は63.8%（2015/16年 Rwanda National Water Supply Policy Implementation Strategy(国家水供給戦略)）であり、都市部においても一部の地区では 恒常的に給水制限が実施されている状況である。	【開発課題への対応方針】 安全な水へのアクセスの向上及びサービスの質の改善に貢献すべく、無償資金協力・技術協力・ボランティアのスキーム間の相乗効果を意識しつつ、引き続き東部県を中心とした給水施設整備及び地方給水施設維持管理機能の強化を実施していく。

協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名	スキーム	実施期間 2017年度以前	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	支援額（億円）	備考
水衛生改善プログラム	地方部及び都市部における安全な水へのアクセスの向上、及びサービスの質の改善を包括的に支援していく。具体的には、安全な水へのアクセスが国内で最も劣悪（80.6%、2013/14年）な東部県において、地方都市における給水施設の整備を実施する。加えて、質の高い給水サービスが継続的に提供されるよう、給水施設建設の計画・モニタリングにかかる能力強化を図るとともに，国家レベルでの政策・制度改善に取り組む。	地方給水施設運営維持管理強化プロジェクト	技プロ							5.33	
		キガリ市無収水対策強化プロジェクト	技プロ							6.23	
		キガリ市ンゾベ-ノトラ間送水幹線強化計画準備調査	協準(一般)								
		キガリ市上水道改善整備マスタープラン	開発計画							2.28	
		水･衛生分野の課題別研修	課題別研修他								
		水･衛生改善支援	JOCV								
		水･衛生分野の草の根･人間の安全保障無償資金協力	草の根無償							0.09	

重点分野４ （中目標）	成長と雇用創出を支える人材育成（科学技術教育・訓練）

開発課題４－１ （小目標） 科学技術教育・訓練の強化	【現状と課題】 ルワンダでは、知識基盤型経済（Knowledge-Based Economy）の実現のための人的資源開発、特に科学技術分野の人材育成の重要性が強調されているものの，依然として経済成長を支える人材は質・量ともに不足しており，教員の持続的な職能開発、政府の能力強化、人材育成の枠組み強化が課題となっている。	【開発課題への対応方針】 基礎教育分野では、教員間研修の効果的な実践法及び新カリキュラムに即した教材の開発と使用法の提供を行う。技術職業教育訓練分野では、労働市場や産業のニーズに基づく訓練、研修コンテンツの開発を行いつつ、学生の就職や起業支援を続けていく。また，本邦企業との連携も支援していく。

協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名	スキーム	実施期間 2017年度以前	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	支援額（億円）	備考
科学技術教育・訓練プログラム	科学技術分野などにおける人材育成体制の強化を図るため、基礎教育では現職教員及び行政官を対象とした国内外での研修などを通じ、学校レベルでの教員間活動の活性化、教員研修システムの強化、教育計画・モニタリングの改善による教育の質向上を目指す。技術・職業教育では、拠点となる高等技術教育機関において産学連携の促進に基づく技術者の育成を支援しつつ、産学連携のモデルを構築・普及することにより、ルワンダの教育・訓練機関における産業開発に資する科学技術人材の育成・輩出機能を強化する。	トゥンバ高等技術専門学校強化支援プロジェクト フェーズ2	技プロ	■	■					8.99	
		学校ベースの現職教員研修の制度化･質の改善支援プロジェクト	技プロ	■	■	■					
		初等算数教育へのICT活用による教育の質向上を目的とした普及･実証事業	中小企業支援		▮	▮	▮	▮			
		小学校教員の算数指導力向上プロジェクト	草の根技協	■	■						
		教育分野の国別研修	国別研修	■	■	■					
		科学技術教育･訓練(人材育成)分野の課題別研修	課題別研修他	■	■	■					
		アフリカの若者のための産業人材育成イニシアティブ	国別研修	■	■	■	■			2.80	
		教育分野の青年海外協力隊	JOCV	■	■	■					
		教育分野の草の根･人間の安全保障無償資金協力	草の根無償	■	■					0.18	
		職業訓練分野の日本NGO連携無償資金協力	日本NGO	■	■	■				0.32	
		ICTイノベーションエコシステム強化プロジェクト	技プロ	■	■	■	■			5.47	
		キガリを中心とした若手ICT人材育成事業	草の根技協	■	■	■				0.40	
		雷害対策の技術移転のための案件化調査	中小企業支援	■	■					0.40	

重点分野５ （中目標）	その他

	協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 （億円）	備考
					2017 年度 以前	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度		
	その他	その他	アフリカ地域高等教育の質の向上に係るJICA･SDGC/A連携	情報収集調査		━━	━━					
			その他分野（公共政策･SDGs）の課題別研修	課題別研修他	━━	━━	━━					
			その他分野（社会的弱者支援/スポーツ支援）	JOCV	━━	━━	━━					
			その他分野（保健）の草の根･人間の安全保障無償資金協力	草の根無償	━	━━					0.09	
			スポーツ分野の草の根文化無償資金協力	草の根文化	━	━━					0.07	

【凡例】　「協準」（＝全ての協力準備調査）、「詳細設計」（＝詳細設計）、「技プロ」（＝技術協力プロジェクト）、「開発計画」（＝開発計画調査型技術協力）、「個別専門家」、「個別機材」、「国別研修」、「課題別研修他」（＝課題別研修及び青年研修）、「ＪＯＣＶ」（＝青年海外協力隊）、「ＳＶ」（＝シニア海外ボランティア）、「第三国専門家」、「第三国研修」、「現地国内研修」、「科学技術」（＝科学技術協力（技プロ型及び個別専門家型））、「草の根技協」（＝草の根技術協力）、「〇〇省技協」（＝外務省・ＪＩＣＡ以外の省庁及び独立行政法人等が実施している技術協力）、「民間提案型技協」（＝開発途上国の社会・経済開発のための民間技術普及促進事業）、「無償」（＝以下に特記するサブ・スキームを除く全ての無償資金協力）、「水産無償」（＝水産無償資金協力）、「食糧援助」（＝食糧援助）、「一般文化」（＝一般文化無償資金協力）、「草の根文化」（＝草の根文化無償資金協力）、「緊急無償」（＝緊急無償資金協力）、「日本ＮＧＯ」（＝日本ＮＧＯ連携無償資金協力）、「草の根無償」（＝草の根・人間の安全保障無償資金協力）、「有償」（＝円借款、海外投融資）、「情報収集調査」（＝基礎情報収集・確認調査）、「マルチ」（＝国際機関等を通じた多国間協力スキーム）、「中小企業支援」（＝中小企業海外展開支援事業「基礎調査」、「案件化調査」及び「普及・実証事業」、並びに中小企業連携促進基礎調査）、実線「―――」（＝実施期間）、破線「－－－－」（＝実施予定期間）